

- Q1** 社会科の学習内容に即した見学（歴史の授業の予習・復習）をしたい。  
 たとえば、縄文土器や「矢じり」を見せたい、弥生時代の石庖丁を見せたい  
 古墳から出土した銅鏡や「まが玉」を見せたい、など…  
 教科書や資料集で扱われる資料の実物を見学させたい、という場合には、博物館との事前打合せの際に、子供たちに見せたい具体的な資料をお伝えください。  
 (子供たちに対して事前の意識付けがあると、より効果的な見学になります)  
 また、**授業の予習・復習を目的とした見学の場**合には、授業とのつながりを意識しながら展示を見学させたいときは、**教科書を持参していただく**ことをお勧めします。
- Q2** 学芸員から専門的な話を聞きたい。  
 新しい「たんけんノート」を使うことによって、学芸員の解説ではなく、子供たちが展示資料を「じっくり観察すること」に見学の重点が置かれることになります。  
 しかしながら、学芸員の専門的な話も聞きたいという要望があれば、応えていきますので、事前の打合せで、内容などについて御相談ください。
- Q3** 「たんけんノート」のサンプルがほしい。  
 当館ホームページの「学校団体の利用」のページ（トップページの左の目次から移動できます）に、pdf版がアップされています。
- Q4** 「たんけんノート」には正解が掲載されていないが、教員にはもらえるのか。  
 正解は、別刷のものを見学前又は見学終了時に先生方にお渡しします。
- Q5** 「たんけんノート」の設問は、授業で学ぶ内容に比べて難しいのでは？  
 新しい「たんけんノート」は、子供たちが「資料とじっくり向き合う（観察する）」ことをサポートし、当館の展示資料について学ぶ教材として作成しており、授業で学ぶ歴史的な知識の獲得や確認を目的にしています。  
 そのため、「正解を求める」ことや「速く完成させる」ことに主眼を置かず、限られた時間の中で資料をじっくり観察させる手法として作成しているものです。  
 つまり、それが「博物館での『展示物との接し方』を学ぶこと」・「子供たちと展示資料との『出会い』」につながるからです。
- Q6** 「たんけんノート」を解答するスピードが児童・生徒によって異なる。  
 このノートを用いた学習では、子供たちが「資料とじっくり向き合う」プロセスをより大切にしており、「より速く解答すること」を求めるものではありません。早く設問が終わった子供には、一層の観察を促したり、他の展示資料を観察する時間にあてるなど、展示室内での学びを深めていくことができます。
- Q7** 見学をしたいときは、どのように申し込めばよいか。  
 当館ホームページの「学校団体の利用」のページ（トップページの左の目次から移動できます）をご覧ください。  
 Pdfまたはワードのファイルで「見学申込用紙」がダウンロードできますので、見学予定日の2週間以上前に、当館にメールまたはファックス、郵送等でお送りください。  
 折り返し、当館の担当者から電話連絡をいたします。

## 広島県立歴史博物館での学校団体見学の手引き

～博物館の見学と、新しい「たんけんノート」の使い方～

博物館でも  
「学びの変革」

### 博物館での見学を通して身に付けたい力

- ① 歴史資料をじっくり観察する力（「みる」力）
  - ② 資料の観察や解説文・パネルから情報を得る力（「しる」力）
  - ③ 観察を通して、気づき・疑問を「発見」する力（「みつける」力）
- ⇒ これらの情報や気づきから、「新たな知」を探求する力

### 「たんけんノート」とは

当館の展示室を見学するための「セルフガイド」教材です。  
 このノートを使用することで、個々の展示資料を効率的に見学できるとともに、展示室全体の歴史の流れをつかむことができます。

### これまでの見学とどう違う？

学芸員の解説が中心の「受動的な見学」から、子供たちが自分の力で学ぶ「主体的な見学」へ変わります。

※新しい「たんけんノート」がそのサポートをします。



詳しくは次のページを見てね!

### 「たんけんノート」を活用した見学プランの例

プラン① (60分) 通史展示室見学コース	プラン② (90分) 通史・草戸展示室見学コース	プラン③ (90分) ノートを徹底活用コース
ガイダンス (5分) 原始時代の解説 (10分) たんけんノートで見学 (40分) まとめ (5分)	ガイダンス・ビデオ (10分) 原始時代の解説 (10分) たんけんノートで見学 (40分) 草戸Ⅰ・Ⅱ展示室で見学 (25分) まとめ (5分)	ガイダンス (5分) 原始時代の解説 (10分) たんけんノートで見学 (40分) たんけんノートでふりかえり ※気づきの発表など (30分) まとめ (5分)

※ 4月25日～5月2日は学校団体が集中することが予想されるため、見学内容は一部ご希望に添えない場合があります。

※ 5月1日(月)は、臨時開館します。ぜひご利用ください。

※ このほかに、1階の企画展示室の展示会も開催しています。内容や会期、入館料については、当館のスケジュールカレンダーやホームページ等でご確認ください。

⇒ 4月28日～6月4日は、弥生時代を特集した

春の展示「卑弥呼の時代の備後南部」を開催しています!



# 新しくなった「たんけんノート」 10の特色

- 基本問題（「ホップ」）の標準所要時間：40分
- ノートでの学習がそのまま見学「まとめ」に。

**1** 見たい資料に迷わず行ける！  
展示室内を「見える化」したイラスト

**3** 答えやすい！  
シンプルな解答形式

**5** さわれる展示資料（体験型）  
の活用をうながす設問

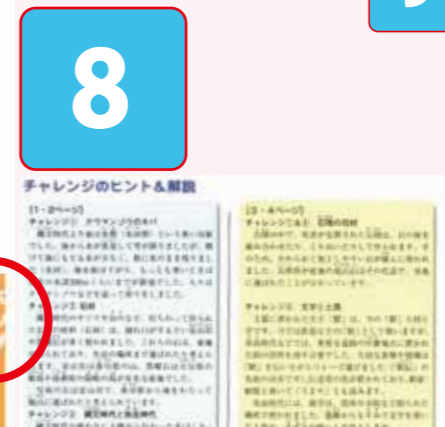
**7** 発見や疑問を大切にするための  
「気づき」の記入欄も準備。

**2** 知識重視ではなく、展示物  
の観察をうながす設問

**4** 時代を通じた比較をうながす  
テーマ問題

**6** このノートの使い方を  
アドバイス

**8** ページ内のコラムや巻末の解説で  
知識・理解を深められます。

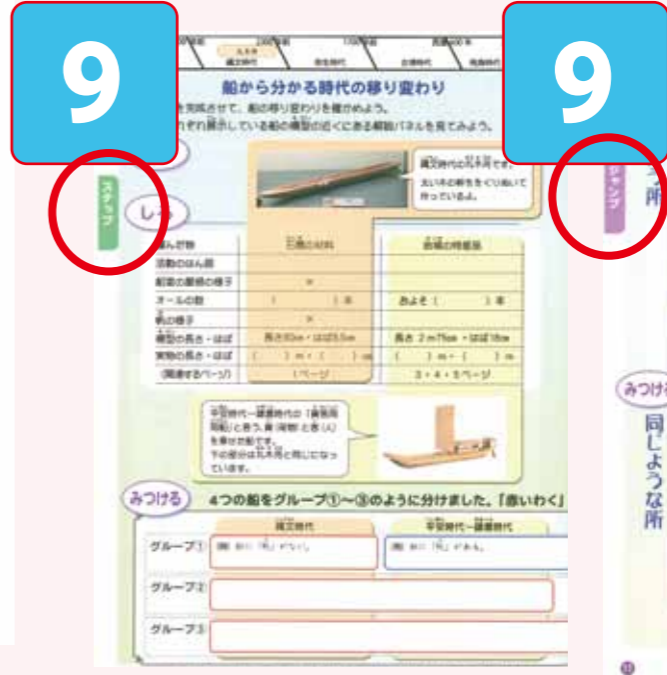


**9** 「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」  
の3段階構成。

- 設問の抽象度が高く
- ・「ホップ」：資料と向き合う時間とプロセスを重視、解答は簡易なクイズ形式に
  - ・「ステップ」：資料を比較するテーマ学習
  - ・「ジャンプ」：比較と考察をうながす記述方式

中学校・高等学校でも活用できます

**10** 裏表紙に見学ルールを記載。  
見学マナーも学べます。



**6**

**8**

**7**

**9**

**9**